

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



“川崎”の川から海へ! 感動のフィナーレ

8月10日(日) 東京交響楽団フィナーレコンサート 撮影: 青柳

ミュージア開館10周年で、開催第10回という記念の年のサマーミュージックは、ついにフィナーレコンサートを迎えた。サマーミュージック期間中さまざまなオーケストラを聴いたあと、オープニングコンサート以来2週間ぶりにミュージアに登場する東京交響楽団を見ると、ステージ上の彼らの存在がしっくりきて、やはりミュージアは東響のホームだと改めて感じさせてくれた。指揮は当初予定していた井上道義に代わり、現田茂夫。現田はこれまで神奈川フィル、N響とサマーミュージックに5回登場しているが、フィナーレコンサートは初。当日は台風にもかかわらず、サマー

ミュージックを愛する皆さんでほぼ満席となった。

プログラムのテーマは「川から海へ」。つまりは「川崎の川・多摩川から東京湾へ」で、「川」「海」にまつわる名曲が揃った。「モルダウ」は源流を描く冒頭のフルートから優しさに満ち、その後もゆったりしたテンポで大きな川の流れが描かれた。考えてみれば「ゆったり」という解釈は穏やかな多摩川らしいのかも。その後の曲も、そんな多摩川を感じさせる演奏となった。休憩後の「フィンガルの洞窟」になると一転して、スコットランドの灰色の空と海が見える響きになり、その色彩感の変化の鮮やかさは、ミュージック

を本拠にする東響ならではのドリュッシー「海」も、落ち着いたテンポで丁寧演奏されたが、だからこそ聴えてくる音が多々あり、異なる楽器が重なりブレンドする音色(例えば冒頭のトランペットとイングリッシュホルン)も印象的だった。多摩川が東京湾に流れ着いたあと、アンコールは現田が好きな曲という「ロンドンデリーの歌」。弦楽器がこの日一番の豊潤な響きを聞かせ、サマーミュージックの幕を閉じた。

夏の連日のミュージック通いも今年はこれでおしまい。また来年をお楽しみに!

音楽ライター 榎原律子



マエストロ・現田茂夫

終演後、マエストロより「夏の川崎大好きです」とのメッセージをいただきました。ありがとうございます♪

8/10 フィナーレコンサート

お客様の声から♪

今日は台風で、水に関係のある曲でより楽しめました!? (45歳・主婦) / どうとうフィナーレコンサート。正直、ちょっと悲しいですが、演奏はGraziosoかVivaceでした♪ (57歳・会社員・ナオパパ) / 川崎の川と海? と思ったが、身近に曲を感じられ聴き方が変わっておもしろかったかもしれない。(30歳・会社員・いしざき) / 日本も「川」と「海」があり、ヨーロッパとは少し趣は違うかも知れませんが、情景が浮かんでくる演奏でした(ブラボー) (58歳・会社員・池野孝) / マエストロ井上がいなくて残念です。早々の回復を願っています。その分をマエストロ現田のすばらしい指揮と東京交響楽団のすごい演奏で補ってくれたなあと感じています。とても楽しいコンサートでした。(56歳・治虫) / ほんと! ブラボーでした。(64歳・主婦・さちえ) / サマーミュージックフィナーレはやっぱりコレ! 色彩豊かで、清潔感ある音楽でした。(juri)

女子レポ!

女子クラ部
&
12 Violinists

【10日のコンサートから】

前半は誰もが耳にしたことのある曲を色鮮やかに、後半はサマーミュージックの終わりを感ぜさせる哀愁も。オケの魅力を感じさせてくれた最終日。絵画のような音楽、川から海、水辺の朝から夕暮を体感できました。 by esu(女子クラ部レポーター)

女子クラ部では2週間あまりにわたってフェスタサマーミュージックの模様を、専属ライター、そして12人のヴァイオリニストの皆様とお届けしてきました。「ほぼ日刊サマーミュージック」に載らなかったレポートもHPに掲載しておりますので、ぜひ覗きにきて下さい。



第10回、感動の閉幕！フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2014



7/26 東京交響楽団オープニング



7/27 東京シティ・フィル



7/27 鍵盤スペシャル



7/28 洗足学園音楽大学



7/29 読売日本交響楽団



7/30 東京都交響楽団



8/1 かわさきジュニア



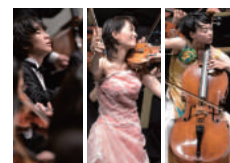
8/1 サマーナイト・ジャズ



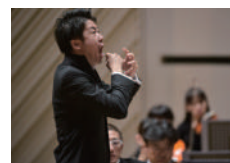
8/2 NHK 交響楽団



8/3 新日本フィル



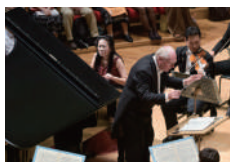
8/3 神奈川フィル@しんゆり



8/4 神奈川フィル



8/5 東京フィル



8/7 日本フィル



8/8 東京ニューシティ



8/9 東京交響楽団@しんゆり



8/9 昭和音楽大学



8/10 東京交響楽団フィナーレ

フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2014が、8月10日(日)の東京交響楽団フィナーレコンサートをもって閉幕いたしました。7月26日(土)からの約2週間、全18公演にわたるサマーミュージアには川崎市内外よりたくさんのお客様にご来場いただきました。今年で開催10回目を迎える

フェスタサマーミュージアは、今年から出演オーケストラが10団体にグレードアップ。今年のコネクトであった「十人十色に楽しむ」ということを実現させることができました。また、ミニ新聞「ほぼ日刊サマーミュージア」を発行。公演レビューやお客様の声などを、連日速報としてお届けしてきました。

Twitter の声から♪



Twitterで、ハッシュタグ「#サマーミュージア2014」をつけて感想をつぶやいていただきました！一部をご紹介します！

サム @Cb @Sam_Contrabass

今年のサマーミュージア、各オケの特色を楽しめました。印象に残ったのはスダーン・東響のリハーサル。オルガンとオケのアンサンブルに震えと涙が止まりませんでした。本番は咳の雑音が残念。本番に限ればN響のキエフの大門が良かったです。

さくら @beethoven3469

サマーミュージアで一番印象に残ったのはオープニングを飾った東響さんです！ゲリンガスさんの深みのあるシューマンのVcコンチェルト、スーダンさんの壮大なサンゴちらも凄く感動しました！最後に団員の方々がスーダンさんを讃えていたのにもじんとききました(*^_^*)

yu_motosumi @prt_uch

今年はたくさん聴きました。どれも特徴があり魅入られる所が違い、楽しめました。一つ選ぶとすると、東京交響楽団のオープニングコンサートでしょうか。曲目も好みだったし、弦と管楽器のバランスがとてもよく、ホールの特徴を生かして音を響かせているなど思いました。

ひらけん @hiraken0007

東フィル公演に感動♪前半はP菊池洋子さんのモーツァルトでフレーズごとにニュアンスを変えてクレバー仕立て。三楽章で感情を最高潮に持っていき辺りも素晴らしい。後半はエッティンガーのマーラー五番で各楽器が歌って歌って歌いまくった情緒的な演奏でブラボーでした！

Goods
muza original

今年のおススメはコレッ

2014
new model

夏新作!

ミュージアオリジナルグッズ販売中!



- サマーミュージア チケットホルダー 640円(税込)
- トートバッグ 540円(税込)



ミュージア川崎シンフォニーホール内ショップ「プレリユード」にて発売中

友の会キャンペーンのお礼

キャンペーン中の特設ブースでは、たくさんの方と交流させて頂きました。入会して下さったお客様、声をかけて下さった会員様、ありがとうございます！(友の会担当)

当日の感動をすぐお届け!!
ほぼ日刊サマーミュージア
Hobo Nikkan Summer Muza



「ほぼ日刊」は本号をもつていったん休刊となりますが、来年の企画が決まりましたら、「号外」でお知らせできる日もありません。ぜひその日を楽しみにお待ちください。

広報営業課 まで

スタック日記
十回目となるフェスタサマーミュージアが閉幕しました。この日刊サマーミュージアも最後の号まで読んでいただき、本当にありがとうございました。